

特記事項

- 潜水艦の衝突事故は「なだしお事件」を除き、潜望鏡深度あるいは全没から浮上作業中に生起
- 1960. 6. 4「いかづち」は「あけぼの」衝突時に乗員2名死亡、その後函館どつくで修理中の15日、ガソリンを使用して清掃中に火災発生、さらに乗員3名が死亡
- 1966. 10. 28高速13号は呉工作所で修理後確認運転中に主機が突然爆発、船は大破し沈没するが、死者はなし
- 海自艦艇最悪の海難事故は1988. 7. 23発生の「なだしお」、第1富士丸衝突事故(30名死亡)
- 1988年7月は海自にとって「魔の一か月」。「さがみ」機械室火災、遠航中の「せとゆき」がバンコク入港中に貨物船と衝突、「なだしお事件」がほぼ10日おきに発生
- 1992. 8. 28「あまぎり」「はまぎり」衝突時、「はまぎり」艦首が「あまぎり」CPO付近に衝突したが洋上給油作業中で無人であったため奇跡的に死傷者なし
- 1995. 6. 11「みねぐも」機械室火災は定検中海上公試での死亡事故。原因は燃料バルブフランジに規格外のパッキンを取り付け、燃料漏洩し引火したもの。造船所(三井玉野)だけではなく呉造修所の監督責任も問われる
- 2004. 3. 25YF2151座礁で船底部大破孔、機械室大浸水、船は船首を空に向け垂直になるが、空所の水密が保持されており沈没は免れその後修復
- 2012. 4. 15「まつゆき」SH-60J衝突は、練艦隊見送りのためローパス飛行中のヘリが「まつゆき」格納庫側壁に衝突したもの
- 2014. 1. 15「おおすみ」プレジャーボート衝突でプレジャーボート側に死者2名発生したが、海難審判結果、衝突の原因はプレジャーボートの無理な操船と審判
- 2019. 6. 26「のとじま」貨物船衝突時、貨物船の船首がのとじま右舷中部に衝突したが、倉庫区画であったため奇跡的に死傷者なし。なお、あと1mほど後方に衝突していれば燃料タンク直撃し、火災発生、油流出の危険があった